

滋賀県立八日市南高等学校

地域支援活動部

高校生ボランティア・アワード2025

2012年度からの被災地ボランティア活動で学んだことを地域に活かす活動

学んだこと

- ・命の大切さ
- ・人と人の繋がりの大切さ
- ・人と地域の繋がりの大切さ
- ・防災教育・防災啓発活動の大切さ
- ・高校生は地域を勇気づけ、地域の未来を創る存在になる

活動概要

2012年度から岩手県・宮城県で11回活動をし、2017年度からは福島県で5回活動をし、2024年度からは石川県能登半島で活動をしています。その活動の中で被災された方々・NPOの方々・交流した高校生から学んだことを、地域社会に活かすために以下のような活動をしています。

(2024年度の活動)

- 1) 石川県能登半島のボランティア活動(写真1)
2024年度は7月31日～8月3日、2025年3月25日石川県能登半島でボランティア活動をしました。また、その報告会を毎年12月に「命の大切さを学ぶ教室」として全校生徒・一般の方を対象に実施しています。今年度も石川県能登半島でのボランティア活動を予定しています。
- 2) 復興支援2畳風の制作・飛揚(写真2)
被災地ボランティア活動で交流した高校生に、本校のある東近江市の大風(国選択無形民俗文化財)を知ってもらい、被災地の高校生への思いを地域の方々から知っていただく活動として毎年行っています。今年も石川県能登半島にエールを送る風にしたと考えています。
- 3) 防災レンジャー(幼稚園児への防災啓発)活動
「地震・火災」に対する命の守り方についての啓発活動をしています。今年からは小・中学生や一般の方に対する「しがみタイムライン」という啓発活動をしています。
- 4) ボランティア畑での野菜栽培
子ども食堂の方から「子供たちに新鮮な野菜を食べさせたい」という思いを聞き、私たちが春野菜・夏野菜を農業を使わないようにして栽培し、子ども食堂や社会福祉協議会さんへ提供しています。
- 5) 子ども食堂での活動
野菜の支援の他に、現在能登川の子ども食堂、金屋の子供食堂で調理の補助や子どもの見守りの活動をしています。
- 6) 出前授業(甲南高校での講演)
人権講演として甲南高校で活動を発表しました。
- 7) 募金活動(能登半島地震募金(47分の1)、岩手県林野火災募金等)
- 8) FMひがしおうみ出演(Yonan Ts 通信)
毎月1回30分の生放送で活動を紹介しています。ListenRadioでオンタイムで聞くことが出来ます。
- 9) その他の活動
桜の植樹会・防災イベント・防災リーダー養成講座の参加、高齢施設での活動
NHK FM 滋賀防災応援ラジオの防災川柳のコーナー
止揚学園(重度の知的障害を持つ活動をした方々の施設)での野菜苗の定植(新鮮な野菜を食べていただくための活動 春野菜・冬野菜)
障害者施設イベントでのボランティア活動
東近江市のジャズフェスティバルでの献血の呼びかけ活動



ボランティア畑で野菜栽培(写真4)



子ども食堂での活動(写真5)



2024年7月31日～8月3日



石川ボランティア(写真1)2025年3月15日



復興支援2畳風(写真2)



防災レンジャー(写真3)

「人は他の人が喜びことをして幸せを感じる唯一の生き物です。」 『繋がり』

2012年度から2023年度まで(2020年度からはコロナで中止)東北でのボランティア活動をし、2024年度からは能登半島でボランティア活動をしてきました。その活動で、被災地へ実際に行き、現状を見て、被災された方々と交流させていただき、多くのことを学び考えさせられました。

特に同じ世代の高校生たちが、自分たちの地域のことを思い、復興(地域の未来)に積極的に参加しようとしている姿に触れ感慨を受けました。

そして、彼らの想いが「命を大切に思う心」「人と地域の繋がりを大切にする心」「人と人との繋がりを大切にする心」から生まれてきたということに気づきました。

そこで、私たち地域支援活動部も「命の大切さ」を学び「地域」・「人」との『繋がり』を大切に活動の重要性を感じ、その繋がりを地域に活かす活動に取り組んでいます。



2024年度 復興支援2畳風

判じもん「能登のゆ たか(鷹)な海をとり(鳥)戻し、return たい」

この判じもんは、今年1月1日の能登半島での大地震によって失われた「能登の美しい海や海岸線を取り戻したい」という思いが込められています。(3月の石川県津幡高校とのzoom交流からデザインを考えました。)



出前講演の活動(写真6)



募金活動活動(写真7)

滋賀県立八日市南高校地域支援活動部通信 「YONAN TS 通信」 ListenRadio

毎月1回私たちの活動をFMひがしおうみ Sweet Radioで生放送しています。ListenRadioで全国でもお聞きいただくことが出来ます!!



昨年度(2024年度)の活動内容			
4月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	5月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	6月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	7月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて
8月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	9月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	10月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	11月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて
12月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	1月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	2月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて	3月25日 ・復興支援2畳風について ・ひがしおうみ放送について ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて ・被災地ボランティアについて

2012年度からの被災地での活動



歴代のたこの写真

歴代のたこの写真(2)

「SDGsは地域から」 今後の展望・夢など

2012年度の東北ボランティア活動で、被災された方々やNPOの方々からよく「この子達(高校生)がいるから復興はすすむ」という思いを聞きました。また、高校生からも「私たちはもう支援を受ける存在から、地域を支援する存在になりました」(2018年度の福島ボランティアで交流した相馬農業高校生の言葉)等の地域に対する強い思いを聞きました。

また、本校の活動も新聞やケーブルTV等で取り上げられるようになり、地域の方々から「八日市南高校の地域支援活動部の活動を知って、勇気や元気をもらった」という言葉を聞くようになりました。このように、高校生たちが地域の活動に参加したり、周りの方々のために活動することは、周りの大人達にも大きな影響を与える存在になることを知りました。

だからこそ、高校生がSDGsを意識し、地域・日本社会全体が抱える問題(SDGsも含む)に対して、大人と一緒に語り合い、現状を知る機会をつくっていくことが重要であると捉えています。

現在、私たちが取り組んでいる活動にも、SDGsの目標の一つにある「子供の貧困問題(日本の子供の7人に1人が食べるものに困っている、しかし、この問題は見えにくい)や、「防災啓発活動(東日本大震災から活発化している地震災害や温暖化による水害等)」による命の守り方を地域の子ども(幼稚園児)に伝えるもの等があります。

高校生が地域社会の一員として「地域と共に未来を創る人になる」ことの重要性を自覚し、発言・行動し、SDGsに取り組む輪を地域に作れば、それが日本社会全体に広がり、2030年までにSDGsが達成できると考えています。そのために今後は、本校の取り組みを他校にも紹介し(高校生の繋がりを増やし)、地域を支える大きな取り組みとなっていければと考えています。



活動団体プロフィール

私たちは2012年度の東北ボランティア活動から本格的に活動を開始し、現在は30名ほどで活動をおこなっていますが、人数が必要な活動では生徒会執行部や一般の生徒からも参加者を募って活動をしています。

活動は東北ボランティア活動とその活動で学んだ「命の大切さ」を他の人に伝える活動や「人と人の繋がりを大切に活動」「人と地域の繋がりを大切に活動」と「防災学習・防災啓発活動」を中心におこなっています。

2017年度の東北の活動で岩手県の吉祥寺の高橋ご住職様から「宝物」とは他の人を大切に思う心を持って、他の人から大切に思われる生き方だと教えていただきました。現在は教えていただいた「宝物」を探す活動をしています。